《板書例》　神秘的なかぐや姫

- もと光る竹なむ一筋ありける　――かぐや姫の発見
- 三寸ばかりなる人
- 手にうち入れて　　かぐや姫の異常な小ささ
- 籠に入れて養ふ
- 黄金ある竹を見つくること重なりぬ
- 三月ばかりになるほどに、よきほどなる人になりぬれば　　かぐや姫の不思議な力
- 屋のうちは暗き所なく光満ちたり
- 苦しきこともやみぬ
- 腹立たしきことも慰みけり

《板書例》「かぐや姫の生ひ立ち」のまとめ

翁の行動	かぐや姫の様子
・根元の光る竹を見つける ・手の中に入れて家へ連れ帰る ・籠に入れて大切に育てる ・成人式を行う	・竹の中に座っている ・とても小さい ・三か月で一人前の大きさになる ・輝くばかりに美しくなる